

農林水産統計

STATISTICS OF AGRICULTURE, FORESTRY AND FISHERIES

平成19年2月13日公表

平成18年産大豆（乾燥子実）の収穫量（九州）

- 収穫量は前年産に比べて3割減少 -

【調査結果の概要】

1 作付面積

九州における平成18年産大豆の作付面積（乾燥子実）は2万2,500haで、前年産並みとなりました。

2 収穫量

収穫量は2万5,700tで、前年産に比べて1万2,100t（32%）減少しました。

これは、主産地の福岡及び佐賀を中心に天候不順や台風第13号等の影響により、10a当たり収量が前年産を大幅に下回ったためです。

図 大豆の作付面積及び収穫量の推移

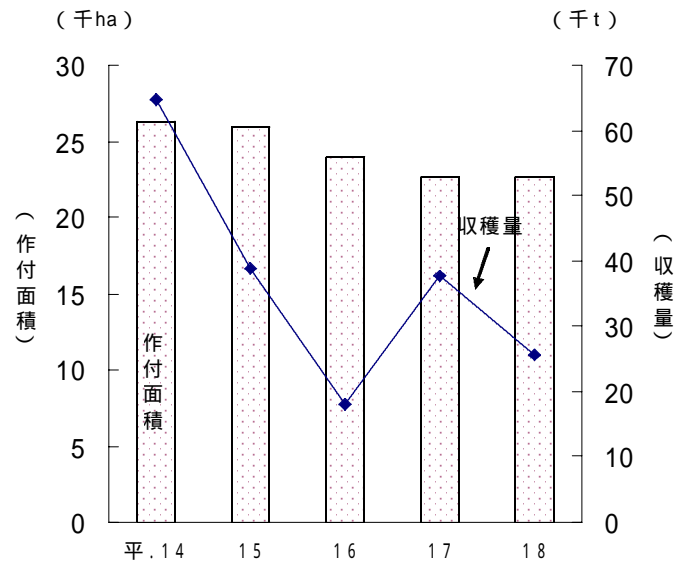


表 平成18年産大豆（乾燥子実）の収穫量

区分	作付面積 ha	10a当たり 収量 kg	収穫量 t	前年との比較						(参考) 10a当たり 平均収量 対比 %
				作付面積		10a当たり収量		収穫量		
				対差	対比	対差	対比	対差	対比	
九州計	22 500	114	25 700	100	100	53	68	12 100	68	63
福岡	8 110	114	9 220	320	104	81	58	5 980	61	60
佐賀	7 490	117	8 760	120	102	76	61	5 440	62	59
長崎	546	82	448	71	88	52	61	379	54	55
熊本	3 080	130	4 010	20	99	7	106	190	105	76
大分	2 420	94	2 270	430	85	12	89	750	75	69
宮崎	457	125	571	9	98	62	198	278	195	89
鹿児島	386	120	463	20	95	7	106	4	101	83

注：1 計と内訳が一致しないのは、ラウンドのためです。

2 「」は、減少を示します。

3 (参考)の10a当たり平均収量対比とは、10a当たり平均収量(過去7か年の実績値のうち最高、最低を除いた5か年の平均値)と当年産の10a当たり収量との対比です。

【調査の仕様】

1 調査の目的

本調査は、大豆の生産に関する実態を明らかにし、農林水産省で行う大豆に関する生産対策、需給対策等各種施策の企画立案の資料とすることを目的としています。

2 調査期日

(1) 作付面積調査：9月1日 (2) 収穫量調査：収穫期

3 調査方法

(1) 作付面積調査

センター職員による関係団体に対する面接調査、巡回・見積りによります。

(2) 収穫量調査

センター職員による関係団体に対する面接調査、作況基準筆調査結果に基づく巡回・見積りによります。

4 調査客体数

(1) 作付面積調査

ア 面接調査：281団体等

イ 巡回・見積り：261市町村

(2) 収穫量調査

ア 面接調査：281団体等

イ 基準筆調査：66筆

ウ 巡回・見積り：261市町村

5 用語の解説

乾燥子実とは、食用を目的に未成熟（完熟期以前）で収穫されるものを除いたものをいいます。

6 その他

この資料の数値は概数であり、確定値は平成19年3月刊行予定の『耕地及び作付面積統計』（農林水産省統計部）及び平成19年8月刊行予定の『作物統計』（農林水産省統計部）に掲載します。

【関連リンク】

九州農政局ホームページ>農林水産情報>農林水産統計
http://www.kyushu.maff.go.jp/toukei/ht_all.html

問い合わせ先

本統計調査結果について

連絡先：九州農政局 統計部

生産流通消費統計課 生産統計第1・2係

電話：(代)096-353-3561 内線 4753・4754

直通電話：096-353-7574

農林水産統計全般について

連絡先：九州農政局 統計部

統計企画課 企画第2係

電話：(代)096-353-3561 内線 4723

直通電話：096-353-7556